

## 釧根地域における中小企業と地域経済の実態調査

北海道中小企業家同友会釧路支部政策委員会は、中小企業と地域経済の実態を正確に掴むための研究機関として「地域経済研究会」を設置しました。釧路公立大学の下山朗准教授を研究員に招き、同友会の政策活動の理論的支柱として機能させて参りたいと考えています。

このたび、その活動の一環として、「釧根地域における中小企業と地域経済の実態調査」を実施することになりました。この調査は、根釧三支部の会員企業の経営状態を正確に把握して、各支部が取組んでいる中小企業振興基本条例制定運動を理論面で支える目的があります。

調査結果は匿名で統計学的に処理しますので、企業名等が公開されてご迷惑をおかけすることは一切ありません。また、調査結果は当研究会の成果報告および研究員の学術研究以外の目的では使用しないことも申し添えます。趣旨をご理解いただき協力をお願い申し上げます。

2008年 10月1日

北海道中小企業家同友会  
釧路支部 政策委員会

(ご注意)

1. お答えは、一つだけの場合といくつでも良い場合があります。質問をお読みになってご回答ください。
2. お答えは、該当する番号を で囲んでください。
3. 「その他」に をつけた場合は、( )内に具体的に記入してください。
4. 同友会事務局までご返信くださいませ

事務局FAX：0154-31-0944

まず、一般的事項についておたずねします。以下の記入欄にご記入ください

業種(下記の業種一覧の中から該当する番号をお選びください)	
所在地(市町村まで)	
資本金	円
従業員(平成20年9月現在)	人

- 業種一覧
- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| 1. 農林業   | 2. 水産業    | 3. 建設業    |
| 4. 製造業   | 5. 卸売業    | 6. 小売業    |
| 7. 飲食業   | 8. 運輸・通信業 | 9. 金融・保険業 |
| 10. 不動産業 | 11. サービス業 | 12. その他   |

## - 経営状態 -

### (売上高の推移)

問1 貴社の過去3年分の売上高について、ご記入ください

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
売上高	万円	万円	万円

### (設備投資の伸び率)

問2(1) 貴社では、設備投資額の年平均伸び率に関して、過去3年間の状況及び今後3年間の見通しについてどのようにお考えですか？過去と今後の増減について、該当する項目を 1つ 選んで をご記入ください。

増減率	期間	過去3年間 (3年前と比較して現在は?)	今後3年間 (現在と比較して3年後は?)
【増える】 20%以上			
【増える】 0%以上~20%未満			
【変わらない】 0%			
【減少する】 -20%超~0%以下			
【減少する】 -20%以下			
設備投資を行わなかった (行う予定がない)			



(価格の現状について(仕入・販売))

【問5は、業種は農林業、水産業、製造業の方のみお答えください】

問5 貴社の主力製品(商品)を製造するための仕入価格および販売価格が過去3年間と比べて現在の程度か、また、今後3年間の見通しについてどのようにお考えですか？  
貴社の見通しに一番近い項目を一つ選んで をご記入ください

増減率	期間	現在		今後3年間	
		仕入価格	販売価格	仕入価格	販売価格
【増加する】	20%以上				
【増加する】	0%以上~20%未満				
【変わらない】	0%				
【減少する】	-20%超~0%以下				
【減少する】	-20%以下				

## - 賃金形態 -

会社組織のうち、社員の年齢・給与等についてお伺いいたします。

(賃金状況)

問6(1) 貴社の従業員の賃金について、今後3年間の見通し についてどのようにお考えですか？

増加する見込み ( 問7へ)

変わらない ( 問6(2)へ)

減少する見込み ( 問6(2)へ)

(賃金の上昇を抑制する要因)

問6(2) 貴社の賃金決定において、賃金の上昇を抑制する要因としてどのようなものがあるでしょうか。

該当するもの全て を記入ください。

株主への配当の増加

設備投資の増加

パート、アルバイトなど、国内の安価な労働力が利用可能なため

賃金改訂における世間相場の重視

原材料費等の仕入れ価格の上昇

売上が伸びていないため

その他(具体的に: )

(従業員数)

問7 貴社従業員の世代別人数および賃金(年収)についてご記入ください

正社員以外の従業員については、賃金がわからない場合は、無記入でもかまいません  
賃金(年収)には、定例給与に賞与等の臨時給与を合計した金額です。

	人数	賃金(年収)	人数	賃金(年収)
記入例	12人	200万円台 前半・後半	3人	100万円台 前半 後半

年齢層	区分 現状(平成20年9月現在)			
	正社員		正社員以外の従業員	
	人数	賃金(年収)	人数	賃金(年収)
10歳代	人	万円台 前半・後半	人	万円台 前半・後半
20歳代	人	万円台 前半・後半	人	万円台 前半・後半
30歳代	人	万円台 前半・後半	人	万円台 前半・後半
40歳代	人	万円台 前半・後半	人	万円台 前半・後半
50歳代	人	万円台 前半・後半	人	万円台 前半・後半
60歳代	人	万円台 前半・後半	人	万円台 前半・後半
70歳以上	人	万円台 前半・後半	人	万円台 前半・後半

(雇用意欲について)

問8 貴社の今後の雇用意欲についてお答えください。  
またその理由についても、教えてください。

増加したい      変化無し      減少したい

理由( )

(経営者 )

問9(1) 貴社の経営者の年齢についてご記入ください

年齢	歳
----	---

(経営者 )

問9(2) 貴社の経営者の給与(年収)について、選択欄より該当する番号をご記入ください

役職名	給与(年収) (番号)	【選択欄】		
		~399万円	400万円台	500万円台
代表取締役	( )	600万円台	700万円台	800万円台
専務取締役	( )	900万円台	1,000万円台	1,100万円台
常務取締役	( )	1,200万円台	1,300万円台	1,400万円台
取締役	( )	1,500万円~		

- 経営環境 -

景況感と今後の展望についてお伺いいたします  
(景況感)

問 1 0 平成20年9月末時点での貴社の売上や収益状況について、  
**該当する番号を一つ** で囲んでください。また、その理由もお聞かせください。

- |            |              |               |
|------------|--------------|---------------|
| 売上、収益ともに上昇 | 売上は上昇で収益は横ばい | 売上は上昇で、収益は下降  |
| 売上横ばいで収益上昇 | 売上、収益ともに横ばい  | 売上は横ばいで、収益は下降 |
| 売上下降で収益上昇  | 売上下降で収益横ばい   | 売上、収益ともに下降    |

理由 ( )

(業況判断)

問 1 1 平成20年9月時点の貴社の業況判断について、**一つ** 選び を記入ください。

- 良い                       変化無し                       悪化した

(原油・原材料高)

問 1 2 (1) 原油・原材料価格の高騰が収益にどの程度影響を与えていますか。  
該当するもの **二つ** をつけてください。

- 収益を大幅に圧縮している                       収益をやや圧迫している

それほど影響はないが、今後収益を圧迫するかもしれない **問12(4) へ**

影響はない **問12(4) へ**

問 1 2 (2) 原油・原材料価格の上昇分を製品、サービス価格へ転嫁はできていますか。  
該当するもの **一つ** をつけてください。また、その理由もお書きください。

- 価格転嫁できた                       ある程度は価格転嫁できた  
 ほとんど価格転嫁できなかった

理由 ( )

問 1 2 (3) 原油・原材料価格の上昇に対して対策はしていますか？  
**該当するもの全て** をつけてください。

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 調達方法を多様化        | 代替エネルギー・素材の活用       |
| 価格転嫁の努力         | 賃金抑制等の人件費削減によるコスト削減 |
| 設備投資抑制等によるコスト削減 | 特に対策はない             |
| その他( )          |                     |

問 1 2 (4) 原油・原材料価格がこのままの水準もしくは上昇傾向が続くと企業活動に  
どんな影響が考えられますか。 **該当するもの全て** をつけてください。

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 設備投資を控える          | 経費増大による営業活動の縮小 |
| 賞与・昇級の抑制といった人件費削減 | 廃業・倒産の危機       |
| その他( )            |                |